

2023年10月26日

ほしざらサロン 2023年9月議事録

文責:石橋 愛理

日 時: 2023年9月23日(土) 18:00~20:00

場 所: プラネタリウム事務所

参加者: 阿部, 荒巻, 高木, 永井, 濱島, *町田

(50音順、敬称略)

職 員: *小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 11名

* リモート(Zoom)参加者

I. 次回9月30日(土)ほしざらウォッチング「お月見」について

=====

★20:00~21:00 月[月齢15.4]の観望 @風の丘

※雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説(30分間程度)に変更。

※観望会の翌週ユリックスでイベント開催のための準備で芝生広場は利用不可
風の丘は利用可能。

=====

【使用予定機材】…観望天体は月。

- ・タカハシ10cm屈折望遠鏡③
- ・SkyWatcher 15cmニュートン式反射望遠鏡
- ・セレストロン28cmシュミット・カセグレン式望遠鏡
- ・ビクセン8cm対空双眼鏡①
- ・ビクセン8cm対空双眼鏡②

角田:月の出が比較的遅いため(月出 18:39)、20時開始としている。月はじっくり眺めたい人が多い印象なので、対空双眼鏡2台は出したい。当日のボランティアの参加人数次第で望遠鏡も多く出せるようになる。都合が合えば是非参加をお願いしたい。
また、望遠鏡の倍率などは当日の月の見え味で決めたいと思う。

高木:風の丘の真ん中にスクリーンを立てて、大きな月の映像等を映し出したお月見の回もあったが、今回スクリーンは出すか?

荒巻:加えて、写真撮影用に月のパネルを準備していた回もあった。今回も置いてもよいのでは。

角田:今回、スクリーンやブルーシートは出さない予定。写真撮影用のパネルについては、当日風が強かったりすると倒れてしまう可能性があるため、当日の状況でも判断したいが、イーゼルなどに月の写真を出しておく分には良いかも知れない。月のパネルは以前使っていたものがあるは

ずなので、準備しておきたい。

サロン途中で実際にウォッキングの場所(風の丘)へ下見に行ったが、曇っていたため望遠鏡類は出さず、現地の下見のみを行った。

2. 来年度のウォッキング日程について

11月11日(土)の木星・土星ウォッキングが今年度の最終回となる。来月のサロンで少なくとも初回の日程は決定し、来場者に告知しておきたい。観望会日程の案があれば挙げてほしい。

角田：水星の東方最大離角が2024年の3月25日である。2日前の3月23日(土)はどうか。

水星の明るさは-0.3等くらいになる。

小野田：3月末はプラネタリウム番組入替時期と重なるため、1週前の3月16日(土)でもよいのではないか。月(月齢6.1)や木星(-2.1等)が観望対象になり得る。

角田：ほかに、3月9日(土)は新月の1日前で月明かりの影響を受けにくそうだ。

オリオン大星雲を見てもよいかもしれない。星雲を観望対象とするなら、月齢も考慮して3月2日か9日がよいかもしれない。

--> 次回のサロンで初回のウォッキング日程を決めたい。日程など案があれば提案ください。

3. ほしざら合宿(清和高原天文台)について

プリンセス駅伝開催と合わせて、10月21(土)～22日(日)に清和高原にて合宿を行う。数点、注意事項を確認した。

角田：チェックインに関しては、清和高原ウェブページ上で17時までに済ませるようにと記載があったが、実際に電話で問い合わせて確認すると17時30分ごろまでは構わないとの返答だった。

また、合宿の参加費用はボランティアのみなさんが作ってくれている缶バッジの収益でまかなう予定である。

小野田：10月とはいって、現地は夜間かなり冷え込む。特に頭や足先が冷えるため、耳当てや足先にカイロを装着するなどの防寒対策をした方が良い。

次回のサロンは10月28日(土)です。